

東久留米市立神宝小学校

研究主題

互いのよさを認め合い、輝くことができる子の育成 ～「かかわり合い」を通して～

普遍的な視点からの取組

第2学年 国語科

単元名 詩を書こう「見たことかんじたこと」

教材名 「お手紙」

目標

かえるくんやがまくんの行動やその理由、表情、口調、様子などを想像することができる。

学習活動

役割音読を通して、がまくんの家での登場人物の様子について想像し、とても幸せな気持ちで手紙を待つ2人の心の中の声を書き、発表して伝え合う。

人権教育の視点

場面の様子に着目して、登場人物の行動やその理由、表情や口調などを具体的に想像し、音読で表現する活動を通して、自分や相手の思いや考えを伝え合う力を育てる。

なのはな学級 自立活動

単元名 「仲良し！なのはな！ペア学年！」

目標

異学年との交流を通して、相手の行動や言葉等から気持ちや考えを理解し、相手の立場に立って言葉づかいやふさわしい行動ができる。

学習活動

6年生が案内人とサポーター役に分かれ、交流を通して下学年への関わり方を学ぶ。活動の様子を撮った映像を観て、自身の言動や成果、振り返りをし相手の気持ちを考えて話し合う。

人権教育の視点

話し合い活動の中で互いの気持ちを尊重し、相手の気持ちを受け入れたり、自分の考えを伝えたりする学習を通して、自主的・実践的な態度を育てる。

個別的な視点からの取組

第5学年 特別の教科 道徳

主題名「だれもが幸せになれる社会を」

目標

誰もが幸せになれる社会とはどんなものかを考えさせ、社会的な差別や偏見と向き合い、公正・公平な態度で行動し、社会正義の実現に努めようとする心情を育てる。

学習活動

総合的な学習の時間に取り組む「共に生きる～ハンセン病を通して～」と関連付け、ハンセン病の歴史を知り、誰もが幸せになれる社会の実現に向けて話し合い考える。

人権教育の視点【人権課題 HIV感染者・ハンセン病患者等】

- ・ハンセン病回復者の人々の思いや願いを知ることを通して、豊かな共生社会の実現に向けて互いを認め合い、尊重し合おうとする感性や感覚を養う。
- ・差別意識から生じる様々な課題解決のために、正しい知識を身に付けることを通して、自分たち一人一人の意識を見つめ直し、自らを啓発していこうとする意欲や態度を育成する。

第6学年 総合的な学習の時間

単元名 「共に生きる ～高齢者と共に～」

目標

高齢化社会に関する基礎的理解や介護・福祉の問題などの課題への理解を深め、地域の高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々について知り、尊敬や感謝の気持ちを育てる。

学習活動

地域の施設見学や疑似体験を通して高齢者の現状を知り、地域の高齢者とその暮らしを支える仕組みや人々について調べる。蓄積した情報を整理分析し、自分たちにできることを考える。

人権教育の視点【高齢者】

- ・高齢者施設に関する学習や体験活動等を通して、高齢者に対する差別や偏見について知る。
- ・高齢者に対して、偏見を持たず、敬愛の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。
- ・課題の解決に必要な技能（能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能）を育てる。

日常的な取組



人権の花運動

花壇づくりや看板を作製し、ペア学年ごとに協力し合って花を植え、世話をしている。



代表委員によるユニセフ集会

代表委員会が「ユニセフ」について調べてまとめ、私たち一人一人にできることや募金活動について発表した。



異学年交流の充実

1年生から6年生までのたてわり班を編成し、集会での様々な遊びを通して、グループの仲を深めている。5・6年生で企画・めあての設定→活動→振り返りを行い、よりよくするための工夫を図っている。

